

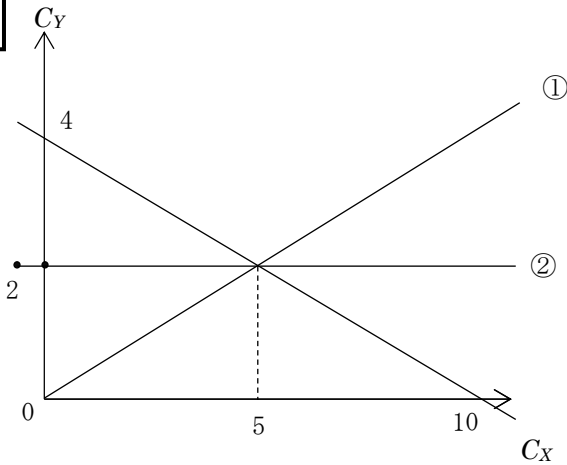
第3問 答案用紙<1> (経済学)

問題 1

問 1

- (ア) (イ) (ウ) (エ)
- (オ) (カ) (キ)
- (ク) (ケ) (コ)

問 2



問題 2

問 1

$MC =$ $AC =$

$AVC =$

問 2

- (ア) (イ) (ウ)
- (エ) (オ)

問 3

生産活動を行う場合と行わない場合の負の利潤の絶対値、前者では固定費用より小さく、後者では固定費用に等しくなる。負の利潤の小さい方を選ぶと生産活動を行うことになる。

問 4

$p^s =$

$p =$ ただし $p > p^s$

第 3 問 答案用紙< 2 >
(経済学)

問題 3

問 1

完全競争下で経済厚生が最大にならないか、完全競争が成立しない状態

問 2

非競争性とは、複数の消費者が一定量の消費財を同時に消費できる性質

非排除性とは、特定の消費者を消費させないことができない性質

問 3

非競争性があるため、費用負担を忌避する消費者も当該公共財を一定量消費可能であり、

非排除性があるため、そのような消費者に消費させないことができないためである。要

するに、フリーライダーが存在することになる。

問 4

$MR=MC$

問 5

$p^*=$

40

$x^*=$

20

$D=$

100

第4問 答案用紙 (経済学)

問題 1

- | | | |
|--|---|---|
| (1) (ア) <input style="width: 150px; height: 25px;" type="text" value="110"/> | (イ) <input style="width: 150px; height: 25px;" type="text" value="1.2"/> | (ウ) <input style="width: 150px; height: 25px;" type="text" value="3"/> |
| (2) (エ) <input style="width: 150px; height: 25px;" type="text" value="基礎"/> | (オ) <input style="width: 150px; height: 25px;" type="text" value="限界消費性向"/> | (カ) <input style="width: 150px; height: 25px;" type="text" value="低下"/> |

問題 2

- (1) 正 誤

誤っている理由 名目貨幣供給量と貨幣の流通速度の積が物価水準と経済の実質取引量の積に等しいという交換方程式が成立するとき、物価水準は1/2となる。

- (2) 正 誤

誤っている理由 トービンのqは企業の市場価値を資本の再取得費用で割った値であり、この場合、2/3となる。

問題 3

問 1

0.06

問 2

50

問 3

2

問題 4

問 1

$P=20r$

問 2

$Y=-Px+100$

問 3

20

問題 5

問 1

10

問 2

4倍

問 3

- 上昇 下降

理由 労働の限界生産の値は、L=100で0.05、L=25で0.1となる。したがって、労働の限界生産の値と等しいwは上昇する。